

施工説明書

連結ホースの長さが合わないときには

リモデル現場などで、止水栓の位置が異なる場合は製品にあらかじめ取り付けられている連結ホースでは長さが合わないことがあります。その場合は、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。

(製品に取り付けてある連結ホースの長さは600mmです。)

お求めの販売店にご相談ください。

また、タンク隔付形便器 (C21,C14) からリモデルする場合は、取替用止水栓 (TS91F1U) をご購入ください。製品に取り付けてある連結ホースを使って、施工できます。

連結ホース長さ違い一覧表

ホースの長さ(mm)	品番	ホースの長さ(mm)	品番
300	D24008-2ZS	1000	D24008-5ZS
415	D24008ZS	1200	D24008-6ZS
800	D24008-4ZS		



1 はじめに	2
2 安全上のご注意	2
3 取り付け前のご注意	3
4 部品の確認	4
5 各部のなまえ	5

6 取り付けかた	5
6-1 給水金具と排水管の位置の決めかた	5
6-2 止水栓 (又は水抜きソケット) の取り付けかた	5
6-3 便器部の取り付けかた	5
6-4 機能部本体の取り付けかた	6
6-5 ヒータ付便器のコネクタ接続のしかた	7
6-6 連結ホース接続のしかた	7
6-7 リモコンの取り付けかた	8
6-8 ロータンクの水量調節	8

7 試運転	12
-------	----

8 その他	14
8-1 給水フィルターの掃除	14
8-2 凍結のおそれがあるときの処置	15

1 はじめに

- (1) 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- (2) 取り付けの際にウォシュレット本体に傷をつけないように十分に注意してください。

2 安全上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。

禁止 このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

必ず守る このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を示しています。

警告

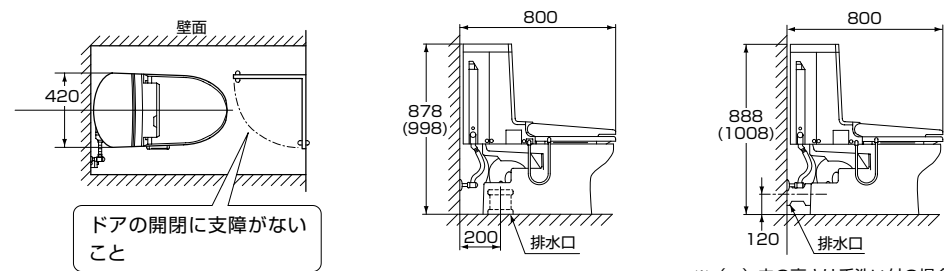
	浴室など湿気の多い場所には設置しない。 (火災や感電の原因になります。)
	交流100V以外では使用しない。 (火災や感電の原因になります。)
	アース(D種接地)工事を確実に行う。 (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外では使用しない。 (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
	電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない。 (火災や感電の原因になります。)
	漏電保護プラグは根元まで確実に差し込む。 (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
	給水管のパッキンなどを取り替えるときは、配線や機器などに水をかけない。 (故障や漏電の原因になります。)

注意

	連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。 (水漏れの原因になります。)		施工は施工説明書にもとづいて確実にを行う。 (水漏れ・感電・火災の原因になります。)
	連結ホースにお湯を通したり、凍結防止ヒータを使用しない。 (水漏れの原因になります。)		止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。 (水が噴き出します。)
	ロータンクの給水量は必ず調節する。 (ロータンクから水があふれ出し、床をぬらす原因になります。) [8ページ] [6-8 ロータンクの水量調節]		給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める。 (確実に締めないとき水漏れの原因になります。)

3 取り付け前のご注意

床排水便器の場合 床上排水便器の場合



1. トイレスペース
ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

2. 電源
ZGタイプの場合……電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は1387W(ヒータ付便器の場合)です。必ずこの電力に適した配線工事を行ってください。(専用配線をおすすめします。)
ZSタイプの場合……定格消費電力は604W(ヒータ付便器の場合)です。必ずこの電力に適した配線工事を行ってください。

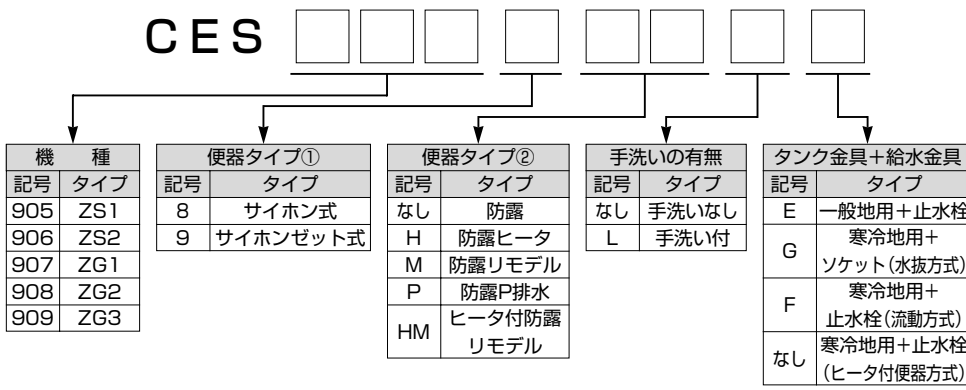
3. コンセント位置
コンセントは、本体のコード取出位置から0.6m以内の壁面に取り付けてください。
電源コード・アース線の長さは1.0mです。

4. 給水圧力範囲
給水圧力範囲は0.05(流動時)~0.75MPaです。

5. 給水温度
給水温度範囲は0~35℃です。

6. 作業方法
(1) 製品への通電及び通水は取付作業が完了してから行ってください。
(2) 連結ホースには折れ曲がり防止のため保護材(ダンボール)が取り付けられています。機能部本体を便器にセットする直前に、保護材をはずしてください。

●総合セット品番

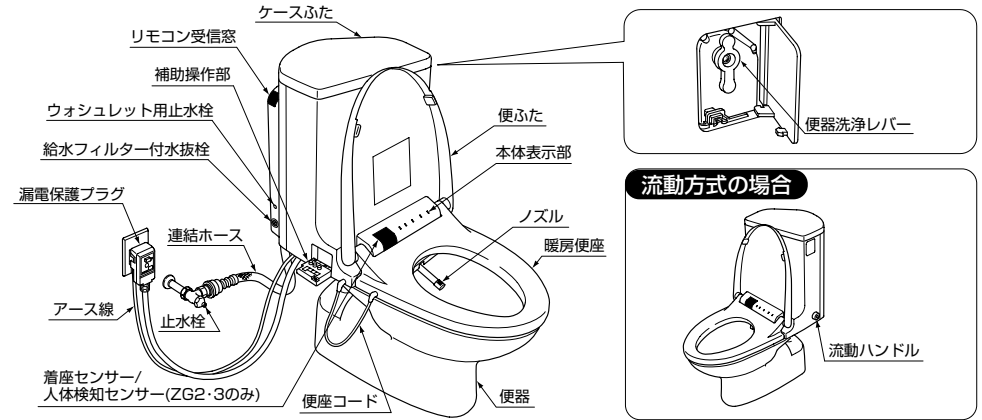


4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

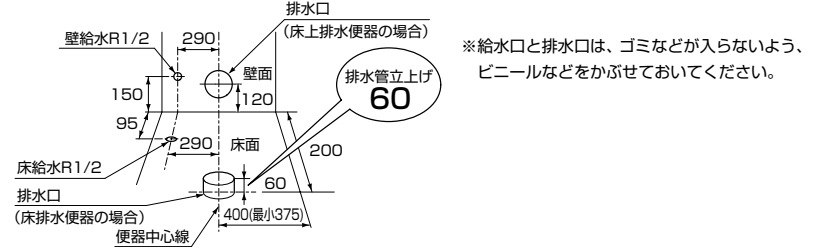
梱包	部 品			
機能部 	機能部本体 	リモコン部品 リモコン (ZS1・2) <ZG1・2・3> ねじ (3本) リモコンハンガー (ZS1・2) <ZG1・2・3> アンカープラグ (3本) プラグ (4本) 乾電池 (2本)	その他 使いかた説明シート 機能部 取扱説明書 取付用型紙 予備パッキン (1個) (施工説明書に貼付) ※寒冷地のみ 施工説明書 取扱説明書 使いかた説明シート フック (1個)	
	止水栓 (又は水抜きソケット) 			
便器部 (普通便器・防露便器の場合) 	便器部本体 固定カブラ付 (4本) 			
	<リモデル便器の場合> 便器接続部 (ゴムジョイント付) 固定金具 (施工説明書付)	<P排水便器の場合> 固定金具 (施工説明書付)		
	床フランジ接続部、横引管 化粧キャップ (3個) Pシール (2枚)	化粧キャップ (3個)		
	<床排水便器の場合> 排水ソケット本体 (ゴムジョイント付) 固定金具 (施工説明書付) 化粧キャップ (3個)			※便器付属品の詳細は、便器の施工説明書をご覧ください。
ヒータ付便器の場合 				

5 各部のなまえ



6 取り付けかた

6-1 給水金具と排水管の位置の決めかた



6-2 止水栓 (又は水抜きソケット) の取り付けかた

- 取り付けの前に
止水栓 (又は水抜きソケット) を取り付ける前に、給水管内のごみ、砂などを完全に取除いてください。同梱の止水栓 (又は水抜きソケット) を必ず取り付けてください。

壁給水

連結ホースの接続部を便器側に向けて取り付けます



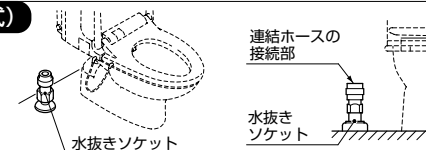
床給水 (水抜方式以外)

連結ホースの接続部を便器側に向けて取り付けます



床給水 (水抜方式、ヒータ付便器・水抜併用方式)

水抜きソケットを取り付けます



6-3 便器部の取り付けかた

便器の取り付けかたは、便器の施工説明書をご覧ください。

6-7 リモコンの取り付けかた

1. リモコンに乾電池を入れる

乾電池(単三形) 2個 閉める

開ける 裏面 電池カバー

2. リモコンの取付位置を決める

注意

- 取り付けにあたっては取り付け予定位置でリモコンを操作して、おしり洗浄がはたらくことを確認してください。
- なるべくリモコンを併設する場合はなるべくリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。

のところが取付位置の目安です。
のところが使いやすい位置の目安です。

取付位置の目安
使いやすい位置の目安

3. リモコンハンガーをねじて壁に取り付ける

リモコンハンガー

ねじ

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

4. リモコンをハンガーにセットする

突起部
ハンガー

- ハンガーの突起部に沿って、上から差し込んでください。

6-8 ロータンクの水量調節

1. 止水栓を開ける (水抜栓のときは閉める)

- 配管及び製品から水漏れしていませんか？

止水栓 左に回す

2. ケースふたを取りはずす

手洗いなしの場合

ケースふた 上げる

ケースふたの後方を上げながらはずす

手洗い付の場合

ケースふた 上げる

ケースふたの後方を上げながらはずす

3. 中ふた(黒)を取りはずす

- ねじ (5カ所) をはずしてください。

中ふた(黒) 防露ふた(透明) ねじ タンク

4. 防露ふた(透明)を取りはずす

防露ふた(透明)

5. 止水位調整中に手洗いがこぼれないように接続チューブにコップをかぶせる

接続チューブ コップ

6. ロータンクの止水位を調節する。

- ロータンクの止水位をオーバーフロー管「WL1」に合わせる。

一般地用の場合

1. 止水位がオーバーフロー管の「WL1」より、上か下かを確認する

オーバーフロー管
この分 水位を下げる

- 止水位が「WL1」より上にあるとき

この分 水位を上げる

- 止水位が「WL1」より下にあるとき

2. 浮き玉を回し、オーバーフロー管の「WL1」に止水位を合わせる

水位が下がる 水位が上がる 浮き玉

- 浮き玉の高さによって止水位を調節できます。
- 1回転回すと、水位が約3mm変わります。
- 止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

注意 止水位は正しく合わせてください。正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり便器が詰まったりすることがあります。

浮き玉
オーバーフロー管 (図は手洗い付の場合)

寒冷地用 (水抜方式、流動方式、ヒータ付便器方式、ヒータ付便器・水抜併用方式) の場合

1. 止水位がオーバーフロー管の「WL1」より、上か下かを確認する

オーバーフロー管
この分 水位を下げる

- 止水位が「WL1」より上にあるとき

この分 水位を上げる

- 止水位が「WL1」より下にあるとき

2. ボールタップの水位調節リングを回し、オーバーフロー管の「WL1」に止水位を合わせる

水位が上がる 水位が下がる 水位調節リング(ピンク色) 浮き玉

- 浮き玉を軽く手で押さえながら、水位調節リング(ピンク色)を上げて回してください。
- 1/4回転回すと、水位が約8mm変わります。
- 止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

注意 止水位は正しく合わせてください。正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり便器が詰まったりすることがあります。

ボールタップ
水位調節リング
オーバーフロー管
浮き玉

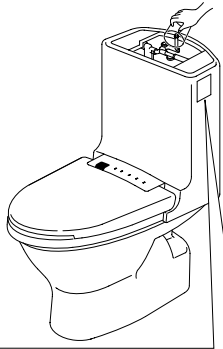
3. 調節が終わったら、水位調節リングを下げてロックする

水位調節リング(ピンク色) 下げる

取り付けかた

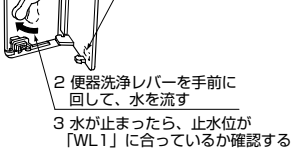
取り付けかた

7. 正しく調節できたか、確認する



便器洗浄レバー

1 本体右側のふたを押して開ける



ご注意

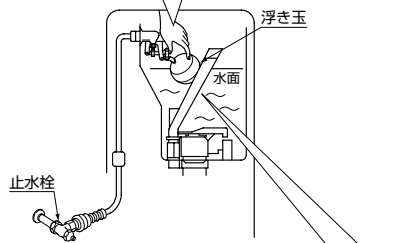
手洗い付の場合は、コップをかぶせず水を流すと、水が噴き出て壁や床をぬらす原因となります。

8. ロータンクの給水量を調節する

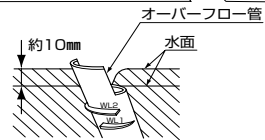
注意 ロータンクの給水量は必ず調節してください。ロータンクから水があふれ出し、床をぬらす原因になります。

●万一ボールタップが故障してもロータンクの水が外にあふれないよう、必ず給水量を確認・調節してください。

1. 浮き玉を指先で軽く押し下げたまま、止水栓を徐々に開ける (水抜栓のときは徐々に閉める)



2. 止水栓を全開にし (水抜栓のときは完全に閉める)、水面がオーバーフロー管より10mm以上、上昇しないことを確認する



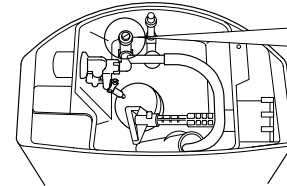
●10mm以上上昇するときは、止水栓 (又は水抜栓) を絞って給水量を調節してください。

9. 手洗い水量を調節する

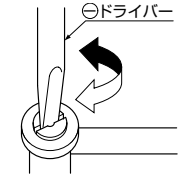
寒冷地用 (水抜方式、流動方式、ヒータ付便器方式、ヒータ付便器・水抜併用方式) で手洗い付の場合のみ

ご注意

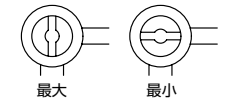
調節中は、水を流さないでください。流すと水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。



水量調整バルブを調整する



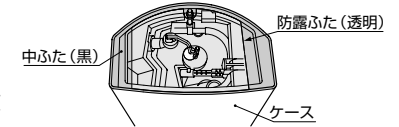
●水量は90°の範囲で調節できます。



10. ケースふたを取り付ける

防露ふた (透明) 及び中ふた (黒) を必ず元どおりにセットしてください。

ご注意 セットしないと結露してウォシュレットが故障する原因になります。



手洗いなしの場合

手前側を合わせケースふたを取り付ける



手洗い付の場合

1. 手洗い管の接続チューブに接続 2. ケースふたの手前側を本体に合わせ、後側を押し込んで取り付ける



3. 正しく取り付けできたか、確認する

●ケースふたが浮いたり、ぐらついたりしていませんか? この場合は、もう一度取り付け直してください。

ご注意

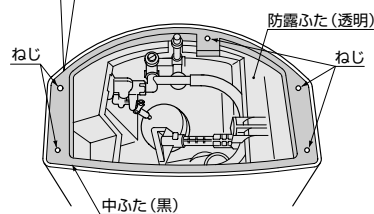
手洗い付の場合、ケースふたが正しくセットされていないと水を流したとき、水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。

11. 便器の水を流して、手洗い水量が適量になったか確認する (手洗い付の場合のみ)

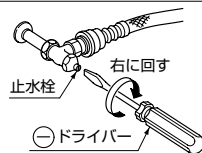
●適量にならない場合は、項目9. 10. の作業を繰り返してください。

水圧が低く、給水に時間がかかる場合は次の手順で減圧プッシュを取りはずす。
[寒冷地用 (水抜方式、流動方式、ヒータ付便器方式、ヒータ付便器・水抜併用方式) のみ]

1. ねじ (5カ所) をはずし、中ふた (黒) 及び防露ふた (透明) を取りはずす



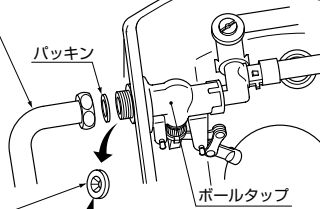
2. 止水栓を閉める (水抜栓のときは開ける)



3. 配管の水を抜く

警告

このとき取りはずした部分から、内部の電気部品に水滴がかからないように、ぞうきんなどで水を受けてください。水滴がかかると、火災の原因になります。



4. 減圧プッシュを取りはずす

5. 付属の予備パッキン (施工説明書に貼り付け) をセットし、もう一度接続する

6. 防露ふた、中ふたを取り付け、ねじ (5カ所) を締め付ける

水圧が高く、給水音が激しい場合 (水抜方式、流動方式のみ)

水圧が高いと、ロータンクへの給水音が激しくなり、給水量が増えます。他の水栓の吐水量に支障のない程度に元栓を絞ってください。

1. 漏電保護プラグを確認する

1. 漏電保護プラグをコンセント (100V、50/60Hz) に差し込む

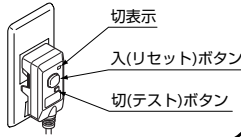
- ノズルがいったん出てから戻る動作をしていますか?

2. 漏電保護プラグが正しくはたらか確認する

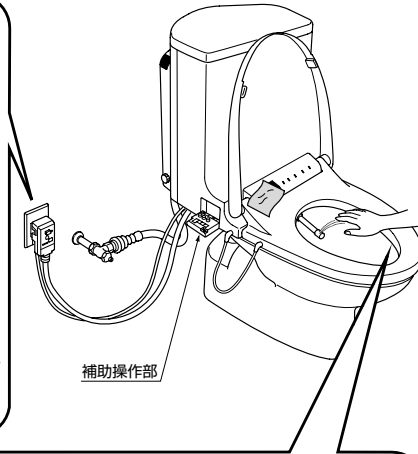
- 切(テスト)ボタンを押すと、切表示が赤色になりますか?
- 入(リセット)ボタンを押すと、切表示が白色になりますか?

3. 確認が終わったら、入(リセット) ボタンを押して、切表示を白色にする

- 赤色になっていると、機能部本体の電源が入りません。



※切表示にはランプ表示のものもあります。



2. 機能が正しくはたらか確認する

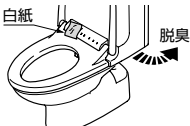
1. 便ふたを開け、着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと、着座センサーが検知した状態になり、スイッチを受け付けます。
- スwitchを受け付けると、ノズル付近から数秒間水が出ます。(ZGタイプのみ)



2. 脱臭機能を確認する

- 本体の右側から風が出ていますか?



3. パワー脱臭機能を確認する (ZG1・2・3のみ)

- パワー脱臭 (入切) を押すと、本体右側から出ている風が強くなりますか?
- もう一度、パワー脱臭 (入切) を押すと元の強さに戻りますか?

4. 洗浄機能を確認する

温水タンクが空のとき (ZS1・2のみ) 水が出るまで約1分かかります。又お湯になるまで約8分かかります。

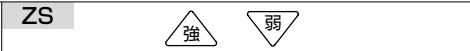
- おしり洗浄、やわらか洗浄又はビデ洗浄スイッチを押すと、ノズルから適温のお湯が出てきますか?



ノズルから出たお湯は手のひらで受けてください。

ノズルから出たお湯は手のひらで受けてください。

- 水勢調節スイッチを押すと、水勢が変化しますか?



- 本体から水漏れしていませんか?
- 止スイッチを押すと、お湯が止まりますか?



5. 乾燥機能を確認する (ZG1・2・3・ZS2のみ)

- 乾燥スイッチを押すと便座後方から温風が出ますか?

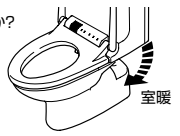


- 止スイッチを押すと温風が止まりますか?



6. 室内暖房を確認する (ZG3のみ)

- 補助操作部の (高) を「高」にしてから、リモコンの (室暖入切) を押すと、本体の右側から温風が出ますか?
- 室温が25℃以上のときは、温風にならないことがあります。
- 設定温度より室内温度が高くなると、温風が自動的に止まります。
- もう一度 (室暖入切) を押すと、約10秒後に温風が止まりますか?



7. 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまっていますか? あたたまるまで約15分かかります。

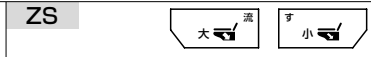
8. 着座センサーの白紙をはがす

9. リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する。(ZGタイプのみ)

- リモコン便座・便ふた開閉スイッチを押すと便座、便ふたが開閉しますか?

10. リモコン便器洗浄機能を確認する

- リモコン便器洗浄スイッチを押すと、便器の水が流れますか?



11. オート開閉機能を確認する (ZG2・3のみ)

- 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。便器から離れて約10秒経過した後、便器の前に立つと便ふたが自動的に開きますか?

12. オート洗浄機能を確認する (ZG2・3のみ)

- 便座・便ふたを開け便器の前に約6秒以上立ち、その後便器を離れるとセンサーランプが消えます。約3秒後に自動的に便器洗浄しますか? (リモコン便器洗浄後、約60秒間はオート洗浄できません。)

13. オートパワー脱臭機能を確認する (ZG1・2・3のみ)

- 白紙をはずしたときに本体右側から出ている風が強くなりますか?
- 1分後に自動的に止まりますか?

14. 連結ホースの接続部から水漏れしていませんか?

15. 便器と機能部の接続部より水漏れしていませんか?

3. 凍結防止機能を確認する

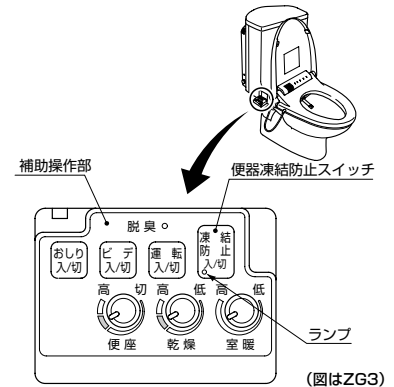
(寒冷地用(流動方式、ヒータ付便器方式、ヒータ付便器・水抜併用方式)の場合)

流動方式の場合

ヒータ付便器の場合



- 流動ハンドルを開けると便器へ水が流れますか?
- 確認したあと、流動ハンドルを閉めて水を止めます。



- (凍防止入切) を押すとランプが点灯しますか?
- 確認した後、(凍防止入切) を押してランプを消します。

8-1 給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、ロータンクに水が溜まる時間が長くなったり、ノズルからの水勢が弱くなったりします。次の手順で掃除してください。

1. 止水栓を開める (水抜栓のときは開ける)

止水栓 右に回す
ドライバー

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
● 水が噴き出します。

2. 給水フィルター付水抜栓をはずす

1. 給水フィルター付水抜栓の下に、水受けを置く (0.1L程度入るもの)

給水フィルター付水抜栓

2. 給水フィルター付水抜栓をドライバーではずれるまで左に回した後、引き抜く

3. 掃除をする

歯ブラシなど
ごみをよく洗い落とす

※金属ブラシは使わないでください。
(フィルターの網が破損することがあります。)

4. 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで右に回して止まるまで確実に締め付ける

注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
● 確実に締めない、水漏れの原因になります。

5. 止水栓を開く (水抜栓のときは閉じる)

給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていませんか?

止水栓 左に回す
ドライバー

お客様へ引き渡すとき

- 取扱説明書の裏表紙の保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- 製品の機能・使いかたについてお客様に説明してください。
- 新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、凍結防止の処置をしてから漏電保護プラグを抜いておいてください。

8-2 凍結のおそれがあるときの処置

お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、凍結破損による漏水防止のため次の要領で水抜きしてください。

1. 止水栓を開める (水抜栓のときは開ける)

止水栓 右に回す
ドライバー

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
禁止 ● 水が噴き出します。

2. ロータンクの水を抜く

便器洗浄レバー 1 本体右側のふたを押して開ける

2 便器洗浄レバーを手前に止まるまで回したまま
3 押し込んでロックする

3. 配管の水を抜く

給水フィルター付水抜栓 1 水受けを置く (0.1L程度入るもの)

2. 給水フィルター付水抜栓をドライバーではずれるまで左に回した後、引き抜く

3. 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで右に回して止まるまで確実に締め付ける

注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
● 確実に締めない、水漏れの原因になります。

4. 連結ホース内の水を抜く

- 止水栓側の連結ホースをはずし、ホース内の水を抜いてください。
- ホース内の水が完全に抜けたら、もう一度接続してください。
- 連結ホースの取りはずしかた・接続のしかたは、(P.7)ページ参照

5. ウォシュレット内の水を抜く

ZS1・2の場合

1. ドレンプラグの下に、水受けを置く (2L以上入るもの)

2. ドレンプラグを左に回してはずす
● 水が完全に抜けるまで、1分程度かかります

3. 水抜きが終わったら、ドレンプラグを元の位置に戻し、右に回して確実に締め付ける

注意 取り付けや取りはずしの際には、ペンチなどの工具は使用しないでください。水漏れの原因になります。

ZG1・2・3の場合

1. 水抜きレバーの下に水受けを用意する。(20mL以上入るもの)

2. 水抜きレバーを手前に引いて水を抜く。(水が完全に抜けるまで約10秒かかります)

3. 手を離せば、水抜きレバーは元に戻ります。

6. ノズル内の水を抜く

- 便ふたを開け、着座センサーを白紙でおおう
- おしり洗浄、やわらか洗浄又はビデ洗浄スイッチを押す
ZS1・2の場合
- 約5秒後に止スイッチを押す。
ZS1・2の場合
- 着座センサーの白紙をはがす

7. 漏電保護プラグを抜く

8. 便器の溜水を処置する

- 便器の溜水が凍らないよう、不凍液を入れるなどの処置をしてください。